



ライラック友の会ニュース
2017年10月28日：第42回ミーティング報告

2017年11月30日
関西支部：安田、山本



全国のライラックを愛する皆さん、お元気でしょうか。今回より関西支部が会報を担当することになりました。よろしくお願いたします。
さて、10月28日（土）浜松市館山寺町の東方塚会館にて第42回ライラックの集いが遠藤新会長音頭のもとに開催されました。
元丸正自動車高須さん伊藤さん他元従業員の方々、友の会会員、地元浜松のタウン誌エンシューアスト編集大沼さん他総勢24名が全国よりこの日の為に集まりました。
あいにくの天気で参加車両はわずか3台でしたが、設計の高須さんの開発秘話、三菱重工との秘話などや参加者同士のライラック談義で大いに盛り上がりしました。
今後も遠藤会長新体制のもとに、未永く開催される事を誓い、解散しました。



格安貴重品ミニガレージセール



雨のため参加車両はわずかに3台



特別寄稿 ライラックと共に 日置義明

思い出すと小学生の頃、近所の町医者がベビーライラックに乗って庄内地域を巡回診察をしており、隣の地域にはインディアンに乗って行っていました。
当時はバイクが非常に珍しい時代でした。
昭和34年中学を卒業して名古屋で働き出した頃、街に市電で行くと確か下前津か上前津の市電停車所近くに木造平屋の丸正名古屋支店があったのを覚えています。
昭和36年に丸正が倒産したのを10月か11頃のアサヒグラフで知りました。
その後浜松に帰ってきた昭和38年頃に丸正が再建されたと聞き、一度森田工場に様子を見に行ったことがあります。
その頃にライラックR92が生産開始され、欲しかったのですがR92の価格は20万円ぐらい、当時月給1万円の頃ですからとても買うことは出来ませんでした。
それから10年程後の昭和48年頃に岡崎の水野さんと知り合い、ライラッククラブを作ろうとなりました。
昭和51年10月発売のモーターサイクリストに意見広告を掲載し、この年の秋にクラブが発足しました。
翌昭和52年春に第一回ライラックの集いを森田精機で開催、以後毎年開催して今年で42回となりました。
会員が資金を集めアメリカからR92（セル付）新車を購入したり、新聞、テレビ、雑誌、公共施設と色々に紹介され、楽しい思い出となりました。
今思うと我ながら永く続いたものだと思います。
42期から遠藤さんが会長になりましたが、今後も皆さんと力を合わせて頑張っていきたいのでよろしくお願いたします。
全国の会員皆さん他大勢の人達とお逢い出来て、たいへん嬉しく思います。
とても幸福でした。
皆さんも何時までも元気でライラック友の会で有意義な人生を過ごしましょう。

寄稿 第42回ライラックの集いに参加いたしました。 坂井康比古

あいにくの天気が悪かったせいか、展示車両が2台しかなかったせいか、何と見学者2名。
同時開催されたミニミニガレージセールでは、何と貴重なR92、LSの新品フロントフォークや新品ライトリム、リプロゴム部品やステッカーなどが破格の値段で販売されたのですが、売れ残ってしまいました。
その後の宴会第一会議では会長交代の挨拶が行われ、新会長である遠藤さんより新任の決意が長々と述べられました。
内容は真摯であり、これからの会の発展は間違い無しと、皆感激しておりました。
第二会議において、早速、遠藤新会長により、今回の議題である会のエレクトラの扱いに関して話し合いが行われ、全会員の同意を確認し、エレクトラは会にて管理して行く事と決定いたしました。
この決定事項は揺るぎなく、速やかに行われる事でしょう。
各担当会員の皆様は粉骨砕身し、その任を全うされますよう宜しくお願い致します。
今回も大変有意義に過ごさせていただきました、特に古い資料を見られるのがこの集いの楽しみの一つです。
高須先生の丸正時代の写真など、面白かったですね、カタログのモデルは酒屋の娘だったとか、良い時代でしたね。
次回のツーリングは来年6月との事、まだ先ですけど皆様、元気で又お会い致しましょう。

総会決議事項

- (1) 第41期会計は承認されました。
- (2) 友の会エレクトラについて
当エレクトラは友の会のシンボルとして
会が所有し個人には売却しないと決定
しました。
- (3) 日置前会長には引き続き元丸正自動車関係
の方々との連絡折衝を担当して貰うこと
になりました。

今後の活動

第29回春のツーリング大会は平成30年5月
末か6月初旬に長野方面を予定しています。

訃報

溝渕 定さん（ライラック号設計者、元丸正自動車製造常務取締役）が11月27日に逝去されました。享年93歳
ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでお悔やみを申し上げます。